

Eラーニング研修「最終レポート」
I C Tを活用した授業のイメージをつくりましょう

教科・領域等	中学校保健体育
授業タイトル・单元名等	バスケットボール
対象学年	中学校 3 年生
実施場所	体育館
I C T活用授業の内容	<授業のねらい> ・自分の映像を見て、正しいフォームでレイアップシュート出来るようにする <授業の展開>～授業の流れ～ 1. 導入 ・教科書に載っている挿絵と口頭での説明をイメージしてレイアップシュートを練習する（左右） ・グループでお互いのよい点、悪い点を話し合う。 2. 展開 ・ビデオに個々のフォームを撮影し、その様子を自分で確認する。授業者はポイントとなる点や改善点を助言する。 ・①出来たグループ②頭で理解は出来ているが動きが伴わないグループ③全く出来ないグループに分ける。 ・①のグループを数名に分け、③のグループに教える。 ・②のグループは再度ビデオを確認し、イメージを膨らませる。その時、①のグループの生徒の動きを参考にする。 ・②のグループの生徒のシュートをビデオで撮影し、再確認する。 ・①のグループの生徒、③のグループの生徒、交互にビデオ撮影し、両グループで確認する。（交互で撮影することで、違っている点やポイントとなる点を確認する。） 3. 振り返り ・各グループでの練習の様子と感想を報告する ①グループ…自分が意識して行ったところ、教えた感想 ②グループ…ビデオで改善できた点 ③グループ…改善できた点、教えてもらった感想 < I C T活用のねらいと授業での位置づけ> ・生徒同士がお互いのフォームを見ることで、イメージと実際の動きを確認することができ、助言し合うことをねらいとする。場合によっては一時停止などで空中姿勢を確認することができる。動きの中では不可能なことも可能となる) ・予め正しいフォームのDVD等を作成しておいて、途中で見せたり、練習中に自由に閲覧出来るようにしておくことも可能になる。
活用する I C T メディア	ビデオカメラ、パソコン、プロジェクター